

# 【A年】

## 主イエス命名の日

全能の神よ、あなたはみ子に割礼を受けさせ、わたしたちの救いのしるしとして、イエスと名づけられました。どうかこのみ名によつて、み民に力と平安を与え、その尊いみ名をすべての国に宣べ伝えさせてください。主イエス・キリストによつてお願ひいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

## 旧約聖書

朗読者 「旧約聖書は出エジプト記第三四章一節から」

だれもあなたと一緒に登つてはならない。山のどこにも人の姿があつてはならず、山のふもとで羊や牛の放牧もしてならない。」4モーセは前と同じ石の板を一枚切り、朝早く起きて、主が命じられたとおりシナイ山に登つた。手には一枚の石の板を携えていた。5主は雲のうちにあつて降り、モーセと共にそこに立ち、主の御名を宣言された。6主は彼の前を通り過ぎて宣言された。「主、主、憐れみ深く恵みに富む神、忍耐強く、慈しみとまことに満ち、7幾千代にも及ぶ慈しみを守り、罪と背きと過ちを赦す。しかし罰すべき者を罰せねばならぬ。8モーセは急いで地にひざまずき、ひれ伏して、9言つた。「主よ、もし御好意を示してくださいますならば、主よ、わたしたちの中にあつて進んでください。確かにかたくなな民ですが、わたしたちの罪と過ちを赦し、わたしたちをあなたの嗣業として受け入れてください。」

朗読者 「旧約聖書を終わります」

## 詩編

1 主はモーセに言われた。「前と同じ石の板を一枚切りなさい。わたしは、あなたが碎いた、前の板に書かれていた言葉を、その板に記そう。2明日の朝までにそれを用意し、朝、シナイ山に登り、山の頂でわたしの前に立ちなさい。3

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

## 第八編 一八節

1 わたしたちの主、神よ、み名はあまねく世界に輝き＝  
 その栄光は天にそびえる  
 2 幼子と乳飲み子は賛美を歌舞＝  
 刃向かう者、逆らう者を  
 鎮めるため、あなたは敵に備えて砦を築かれた  
 3 星を眺めて思う  
 4 あなたの指の業の大空を仰ぎ＝  
 あなたがちりばめた月と  
 5 ひとと/or なは  
 なぜ、人の子を顧みられるのか  
 あなたは人を神に近いものにしけ  
 6 み手の業を治めさせ＝  
 すべてをその足もとに置かれ  
 7 羊も牛も、野の獸もことどく＝  
 空の鳥、潮路を泳ぐ  
 8 わたしたちの主、神よ＝  
 み名はあまねく世界に輝く

神の子と定められたのです。この方が、わたしたちの主イエス・キリストです。5 わたしたちはこの方により、その御名を広めてすべての異邦人を信仰による従順へと導くため、恵みを受けた使徒とされました。6 この異邦人の中に、イエス・キリストのものとなるように召されたあなたがたもいるのです。——7 神に愛され、召されて聖なる者となつたローマの人たち一同へ。わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。  
 ここで聖歌を歌う。

15 天使たちが離れて天に去つたとき、羊飼いたちは、「さあ、  
 1 1 キリスト・イエスの僕、神の福音のために選び出され、召め  
 2 され 3 て使徒となつたパウロから、——2 この福音は、神が既に聖書の中で預言者を通して約束されたもので、3 御子に關するものです。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、  
 4 聖なる靈によれば、死者の中からの復活によつて力ある

16 会衆 「また、あなたとともに」  
 17 司祭 「主は皆さんとともに」  
 18 会衆 「聖ルカによる福音書第二章十五節以下に記された主イエス・キリストの福音。主に栄光」

べツレヘムへ行こう。主しゅが知しらせてくださつたその出来できごと事を見みようではないか」と話はなし合あつた。16 そして急いそいで行いつて、マリアとヨセフ、また飼かい葉桶はおけに寝ねかせてある乳飲み子ちのこを探さがし当あてた。17 その光景こうけいを見て、羊飼ひつじかいたちは、この幼子おさなこに知しらせた。18 聞きいついて天使てんしが話はなしてくれたことを人々ひとびとに知しらせた。19 しかし、た者は皆、羊飼ひつじかいたちの話を不思議ふしきに思おもつた。マリアはこれらの出来できごと事をすべて心こころに納あさめて、思おもい巡めぐらしていだ。20 羊飼ひつじかいたちは、見み聞きしたことがすべて天使てんしの話はなしたとおりだつたので、神かみをあがめ、贊美さんびしながら帰かえつて行いつた。21 八日ようかたつて割礼かつれいの日ひを迎むかえたとき、幼子おさなこはイエスと名付なづけられた。これは、胎内たいないに宿まえる前に天使てんしから示しめされた名なである。

司祭しゆ  
会衆しゆ  
「主しゆに感謝かんしゃします」